

・2017年4月15日（土） 第72回教育課程小委員会開催（私立海城高校）

2017JpGU パブリックセッションの準備、地学教育研究集会（11月・東大地震研）の講演者人選、新「地学基礎」提言文の提出時期について検討した。

・2017年5月21日（日）「学校教育における地球惑星科用語」というテーマで JpGU 大会パブリックセッションを開催した。教科間・科目間、また同一の教科内・科目内でも教科書間で用語や解説内容などが異なっている場合があることについて 地学・地理のみならず生物・化学の事例報告も含め議論した。参加者数、内容共に満足のゆくものであった。

・2017年5月21日（日）JpGU 教育検討委員会総会（幕張メッセ）

・2017年7月1日（土）第73回教育課程小委員会開催（私立海城高校）

火山学会選出委員の交代が承認。6/21に小中学校次期学習指導要領の解説（一部）が公開された報告。2017JpGU パブリックセッションの総括、来年度は「地理基礎」及び「地学基礎」の内容を中心に議論することを確認した。

「大学入学共通テスト（仮称）」について、ベネッセの共通テスト・地学基礎作問担当者をオブザーバーとして招き、具体的な作問例について、文科省の求める作問上の工夫に照らし合わせて、意見交換を実施した。

・2017年7月5日（水）次期高校学習指導要領に向けた高等学校「地学基礎」の提言を文科省に提出した。

・2017年9月16～18日 日本地学教育学会神戸大会で「埼玉から地学 地球惑星科学実習帳」（埼玉県地学教育研究会発行）250部を JpGU 予算で無料配布し、高い評価を得た。

・2017年11月11日（土）～12日（日） 東大地震研究所共同研究集会 「地震・火山現象を含む学校地学教育の現状とそのイノベーション」に本委員会委員の他、推薦の高校教員9名が地学教育の現状や問題点の発表を行った。

・2017年11月12日（日）第74回教育課程小委員会開催（学会ビル地下会議室）

日本地学教育学会神戸大会実習帳配布報告。来年度も実習帳を使い地学教育の普及活動を継続することを確認した。11/11の研究集会参加の高校関係者情報交換会報告。2017国際地学オリンピック・フランス大会の結果報告（金2、銀2）。JpGUの教員免許状更新講習の概要報告。2018JpGU パブリックセッションは『これからの高校における地球惑星科学教育—「地理総合」と「地学基礎」—』で検討する。教育国際対応小委員会で、次年度静岡を中心にイベント（巡検）開催の検討中。来年度、京都大学防災研の地学教育研究シンポジウム派遣費用に教育検討委員会の旅費予算使用する。

・2018年2月25日（日） 第75回教育課程小委員会開催（私立海城高校）

次期高校指導要領パブリックコメント草案、大学入学共通テスト（新テスト）の問題、H

Pに実験実習の具体例を掲載し充実を図ること、地球惑星科学実習帳の普及方法などについて検討した。

・2018年3月14日（水）次期高等学校学習指導要領の「地学基礎」について、教育検討委員会としてパブリックコメントを提出した。

教員免許状更新講習教員免許

本年度初めて実施したが、事後アンケートによる評価はいずれも高評価であった。

表1 開催した講習の概要

開催月日	開催地	講習名	受講者数	定員
7月28日	大阪府高槻市 高槻市生涯学習センター	総合的防災教育	8名	30人
8月06日	つくば市 防災科学技術研究所	学校区での自然災害とその対策を考える	3名	20人
8月22 ～23日	千葉県 館山市菜の花ホール 他	石碑や海岸の地形、露頭から学ぶ、関東地方を襲った大地震とプレートテクトニクスおよび地磁気逆転の証拠	16名 (うち聴講参加3名)	30人
8月29日	東京大学（本郷）	数値シミュレーションで学ぶ津波の基礎	3名	15人

表2 文部科学省指定の事後アンケート調査の結果

	項目I	項目II	項目III
総合的防災教育	3.3	3.3	3.3
学校区での自然災害とその対策を考える	4.0	4.0	3.7
石碑や海岸の地形、露頭から学ぶ、関東地方を襲った大地震とプレートテクトニクスおよび地磁気逆転の証拠	4.0	3.9	3.8
数値シミュレーションで学ぶ津波の基礎	4.0	4.0	4.0
4講座の平均	3.8	3.7	3.7